

平成26年度 事業報告書

大慈ほまれ保育園

1. 《法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

- ①保育指針の内容を遵守し、家庭的な雰囲気の中で、保育目標に向かってみんなで協力して保育を行う。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③安全を第一に考え、子どもが安心して過ごせるようにする。

3. 《目標》

- ①地域に保育園を知っていただき、信頼関係が築けるように積極的に関わる。
→近くの公立の保育所に遊びに行かせていただいたり、向かいのリハビリテーション専門学院の実習依頼を受ける。
- ②子どもや保護者に寄り添い、信頼関係を築き共育てをする。
→情報発信したり、相談を受けたり、積極的に声をかける機会を作った。
- ③職場内外研修を行い、全職員で共通理解をする。
→会議時の研修報告により、共通理解し保育園全体で取り組むことができた。
- ④特色・サービスの向上を図る。
→ホームページの「だいじっこだより」の更新を、行事などの度に行った。
- ⑤子どもが楽しんで取り組み、総合的に成長を促す。
→体力づくりで、サーキット遊びや律動を計画し常時行う。

4. 《保育環境整備》

園庭が屋上なので、使用時間や遊び方を工夫したり、隅にままごとコーナーを設置した。

5. 《職員研修》

- ・職員の資質向上のため、職員会議やミーティング後に研修・伝達講習を行った。
- ・11月23日、大慈保育園と兵庫保育園と合同で、午前中は、大慈の高橋園長の講話を聞き 午後は、キッズいわきさんの「つみき遊び」の研修を行った。

6. 《広報》

- ・本園ホームページを作った。
- ・園開放のチラシを近隣に配布（ポスティングに行った）。
- ・地域の施設・学校・関係者に園だよりなどを配布した。
- ・月1回園の外の掲示板に園の子ども達の様子やお知らせ等掲示した。

7. 《育児支援》

- ・お誕生日会・園開放・子育て応援事業時に育児相談や健康相談を行った。

8. 《災害・防犯避難訓練》

- ・毎月1回 火災避難訓練を行った。
- ・毎月1回 防犯避難訓練を行った。
- ・年4・5回けいれん・SIDS時の訓練を行った。
- ・10月28日消防署の方に来ていただき、消火訓練を行った。
- ・11月17日 津波防災訓練を行い、全園児大倉山体育館まで避難した。
- ・1月20日警察による交通安全防犯訓練を行った。
- ・2月27日神戸ハーバーランドumieの春の火災予防運動に伴う広報訓練に4・5歳児招待され参加した。

9. 《会議》

- ・月1回、職員会議・給食会議・伝達会議を行った。
- ・月1回、リーダー会議を行った。
- ・月1回 大慈保育園と園長・主任会議を行った。

10. 《健康診断・衛生》

内容	実地日(回数)	業者等
健康診断	5月・10月	浪方医院
眼科健診	11月	中堀眼科医院
歯科健診	6月・2月	太田歯科医院
耳鼻科健診	11月	野村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	2月	兵庫県予防医学協会
尿検査	6月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月(1回以上)	サニックス株式会社

11. 《行事内容》

月	行事名
4月	入園式
5月	遠足 クラス懇談会 5歳児大慈保育園といちご狩り
6月	お楽しみ会 中央区7ヶ所公私5歳児交流
7月	七夕祭り プール・水遊び開始
8月	夏まつり
9月	大慈保育園と運動会合同練習
10月	運動会 お泊り保育 遠足 中央区5歳児交流
11月	作品展 お楽しみ会 保育参観ウィーク
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき(4・5歳児大慈へ)
1月	よいこの集い 六甲山そり遊び遠足(大慈の5歳児と) 交通安全教室
2月	豆まき 生活発表会
3月	お別れ遠足 お別れ会 卒園式 交流

1 2. 《月間行事》

行事名	
ECC英語教室3歳児クラス(月1回)	ほまれっこくらぶ(月2回)
ECC英語教室4・5歳児クラス(月2回)	子育て広場(月一回)
お誕生日会(月1回)	

1 3. 《平成26年度在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8	18	14	11	9	5	65	108%
5月	8	18	14	11	9	5	65	108%
6月	8	18	15	11	9	5	66	110%
7月	8	18	15	11	9	5	66	110%
8月	8	18	15	11	9	5	66	110%
9月	8	18	15	11	9	5	66	110%
10月	8	18	15	11	9	5	66	110%
11月	8	18	15	11	9	5	66	110%
12月	8	18	15	11	9	5	66	110%
1月	8	18	15	11	9	5	66	110%
2月	8	18	15	11	9	5	66	110%
3月	8	18	15	11	9	5	66	110%
合計	96	216	178	132	108	60	790	109%

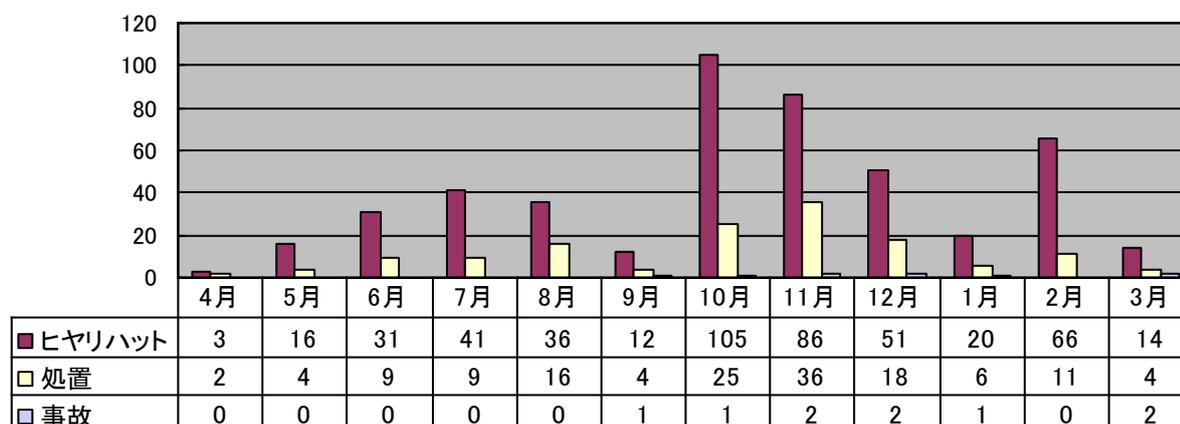
1 4. 《リスクマネジメント報告》

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

平成26年				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	634	9件	481件	144

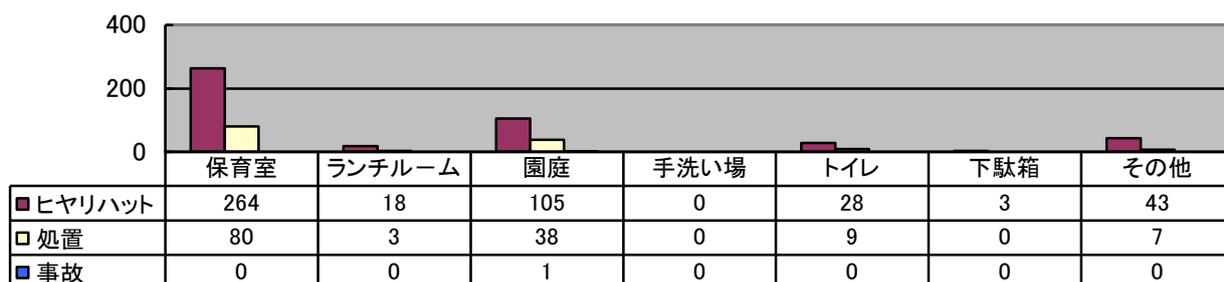
※ドキドキの件数は多いが、実際受診をした内容は少ない

①月別発生件数



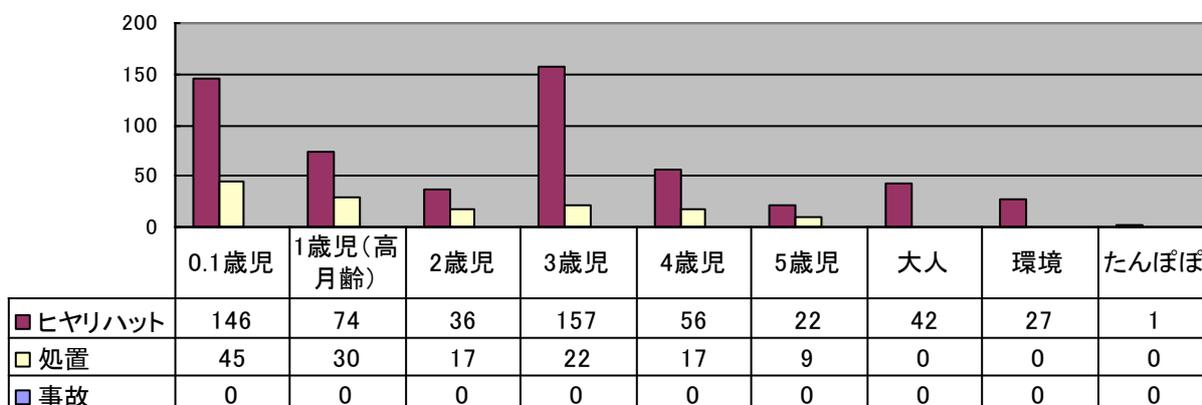
②場所別発生件数

→保育室での件数が多かった



③クラス別発生件数

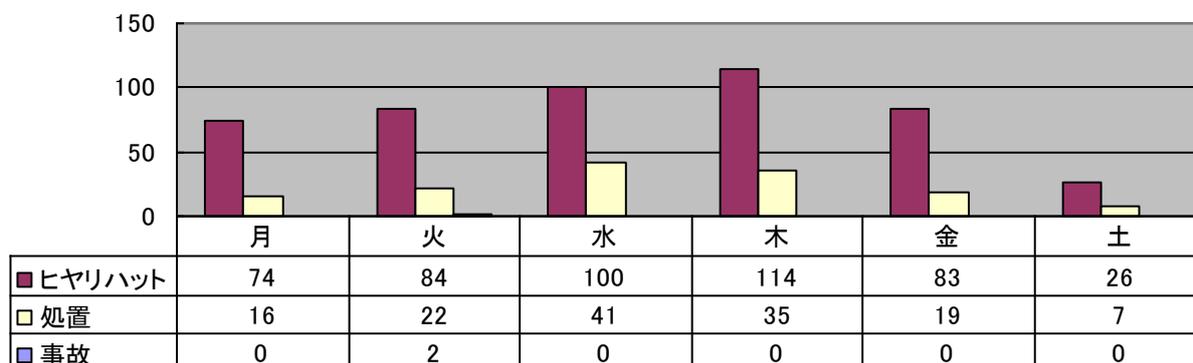
→友達との関わりの中で叩いたり押ししたりによるヒヤリハットが多かった。



④曜日別発生件数

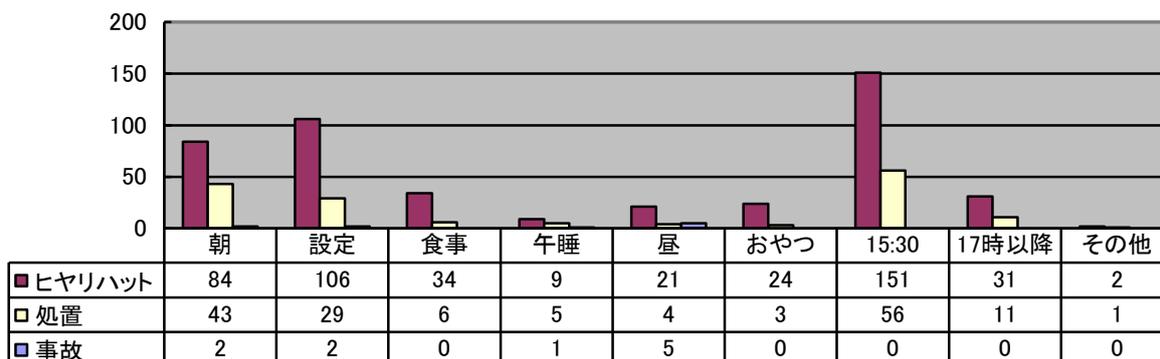
→週の半ばに件数が多い。

週末にかけて件数が少ないので、注意して見ていきヒヤリハットや気付いたことなど報告するようにする。



⑤時間帯別発生件数

→15:30の時間に多い。

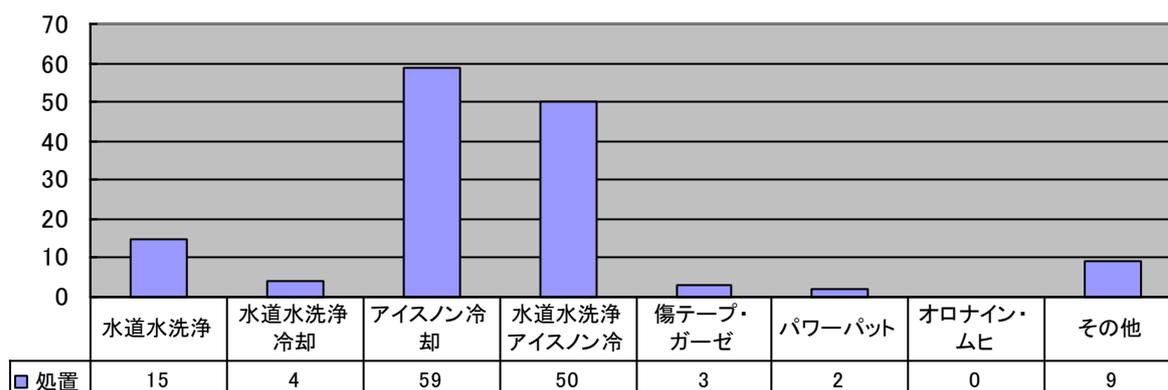


⑥事故発生内容

- ・友達の足が前歯にあたる
- ・左肘内障 (同じ子3件)
- ・顎の裂傷
- ・扉で左手の親指をはさむ
- ・熱性けいれんを起こした
- ・右肘脱臼
- ・前歯打撲
- ・口内裂傷

⑦処置内容

→アイスノン冷却が多い。



⑧個人 172件

引っ掻く、押す、噛み付き、叩く、園庭横の壁をのぼる、ぶつかる、便座の上に立つ、乗りかかる、だまって部屋から出て行く、足を踏む、布団の紐を首にかける、者を振り回す、ゴミを口に入れる、机に乗る、砂を口に入れる、パニックになる、ドアを叩く

⑨まとめ

乳児の噛みつきが、関わりの中で多く出ている。些細なことでも情報を共有し、職員全員が把握して危険なことを減らしていくように心がける。

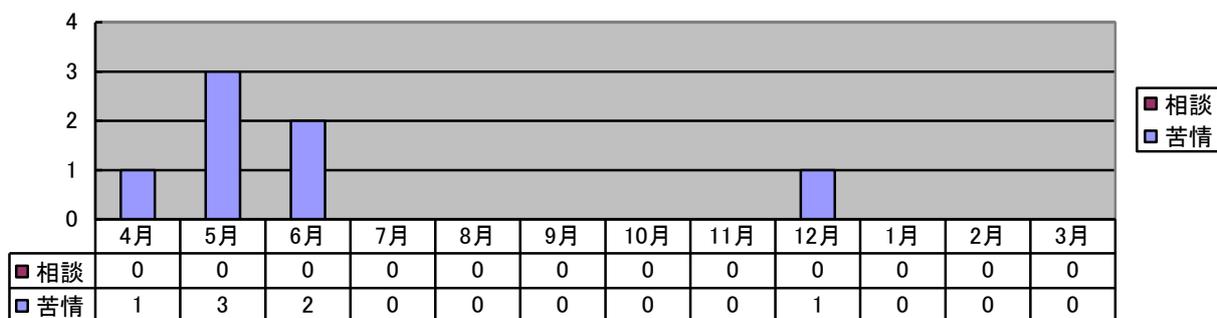
部屋の移動や室内での過ごし方を丁寧に伝え落ち着いて行動できるようにする。

後半乳児が友達との関わりから、噛み付き、ひっかきの行動が多くなったので、未然に防げるように必ず付くようにし仲立ちをしながら、遊ばせる。

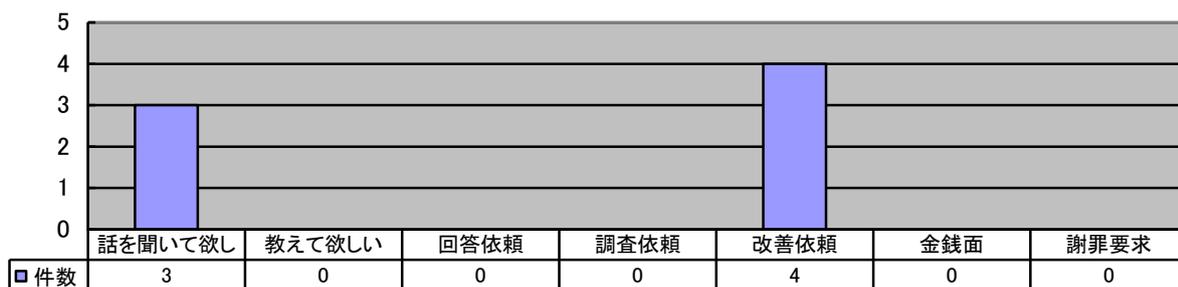
15. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・7件 (内苦情7件)



要望分類



○まとめ

苦情は園長が対応した場合と定義している。

開園したばかりなので、全て園長も同席し話をした。

保護者にはマナーを守ってもらうよう依頼。子どもの声に関しては出入りの時間を考慮し対応した。誤飲に関しては、職員全員が把握し、意思統一する。食事を出す時は声かけして確認してから出すようにする。常に何事も声かけして確認することを周知徹底した。

1.6. 《総括》

開園して1年が経ち、保護者や子どもたちも慣れ、園らしい生活が出来るようになり、落ち着いて、園生活を楽しんでる。

駅が近く、通勤に便利で、正規で働いている人が多く、保護者も協力的で、今のところは苦情はない。人数も少ない特色を活かし、「みんなで みんなを育てる 大家族」を意識して一人一人に寄り添って丁寧にかかわり、保育を考えていくことを意思統一した。

年度末のアンケートでは、保育方針や保育士の対応に好感がもたれ、感謝の言葉が多く、安心して預けていることを実感した。今後このことに甘えず、よりいっそう信頼関係が築かれるよう職員一人一人が子ども達のために丁寧に保護者に寄り添って、共育てをしていきたい。

また、地域に保育園を知ってもらえるようになったので、実習生・ワークキャンプ・トライやるウィークも受け入れ、交流を深めていく。地域における保育園の役割りを全職員が理解し子育て家庭への支援も行っていきたい。地域の子育てコミュニティーの拠点となるよう努めたい。